

平成 28 年  
(2016)  
11月1日

No.  
183

THE AICHI PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS



## 風船バレーボール大会 2016

Index

### 理事コラム

2 「市区町村ネットワークの構築」

3 公益社団法人 愛知県理学療法士会  
部局だより

9 地域活動で理学療法士が求められるもの

10 海外で活躍する理学療法士

11 愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会主催  
の研修会・その他の研修会

## 理事コラム

### 「市区町村ネットワークの構築」

公益社団法人 愛知県理学療法士会 理事・事務局長 星野 茂

全国47都道府県にはすべて理学療法士会が存在しているのは会員の方なら周知の事実であり、一般県民も多くの方がご存じだと思います。〇〇市理学療法士会など都道府県ではない自治体区域に理学療法士会の存在は多分皆無ではないでしょうか。医師・薬剤師・歯科医師は多くの市区町村で〇〇市〇〇会という組織があり、地域医療・介護・保健の分野に積極的にかかわりを持っていることは言うまでもないでしょう。

地域包括ケアシステムの構築と参画は、現在理学療法士にとっての最大の課題であり、期待をされていることは様々なところで聞く話です。期待にスムーズに応えられていない大きな要因として私は、前述の市区町村に理学療法士会が存在しないことではないかと考えています。なぜなら地域包括ケアシステムとは住まいを中心とし保健・医療・福祉などが一体となって提供がされるシステムであり、市区町村が中心となって進めるべき案件です。住まいを中心としている以上、地域の実情に合ったサービスやシステム構築を行うことが大切だからです。行政機関が理学療法士を活用したいと考えてもどこの誰に相談したらよいのかまた、協力を依頼したらよいのか

が明確になっていないことが障壁となっていると考えます。しかし、この仕組みは看護師をはじめとする他のコメディカル職種もなしえていないことです。

日本理学療法士協会も各市区町村に代表者又はネットワークを作ることを重要課題として挙げています。様々な障壁があることはわかっていますが、他職種がなしえていない事柄を先んじて行うことこれが歴史や数の少ない新参者が仕組みに加わる大きな力になることは間違えありません。現在、愛知県理学療法士会も地域包括ケア推進委員会を中心に各市区町村にネットワークを作り、代表者を選出するの願いをしています。現在のブロックをより細分化できれば、県全域・二次医療圏・市区町村とそれぞれに対応出来る組織機構が出来上がることで、今後の地域包括ケアシステム・地域医療構想に理学療法士が中核職種として参画する計画を立てる大きなステップとなります。様々な問題があることは承知の上での組織改革ですが、是非、前向きな協力をしていただければ幸いです。特に、職場を代表する管理者の方々に現状をご理解いただき、理学療法士の社会的役割の確立にお力を貸していただきたいと願っております。

#### 代表理事会務報告 (平成28年7月17日～10月6日)

7月17日(日)	平成28年度第1回人材育成対策本部会議
7月16日(土)	愛知県理学療法士会理事会
8月24日(木)	第19回日本在宅医学会大会第2回プログラム委員会
8月29日(月)	平成28年度トライデントスポーツ医療看護専門学校卒業式
9月17日(土)	愛知県理学療法士会理事会
9月28日(水)	愛知県看護協会 脳卒中リハ看護認定看護師教育課程修了式
10月1日(土)	日本理学療法士協会懲戒委員会
10月6日(木)	愛知県風船バレーボール大会

# 部局だより

**職能局** 業務推進部  
部長 石田 悦二

## <報告1>

去る7月23日(土)、あいち福祉医療専門学校にて今年度の業務推進部第2回研修会を開催し、90名の方々がご参加くださいました。

今回は、テーマを『リハビリテーション専門職の職域と社会保障制度』として、「第1部 医療保険制度の概要とリハビリテーション」では、烏山喜之先生(当県士会代表理事)、「第2部 障がい児・者における制度とリハビリテーション」では、松野俊次先生(豊田市子ども発達センター)、「第3部 介護保険制度とリハビリテーション」では、藤田正之先生(医療法人仁医会)にご講義いただきました。

新人～ベテランまで様々な世代の皆様にご参加いただき、「あらためて一日で各制度の概要や仕組みを関連付けて勉強できてよかった」、「自分の働いている以外の職域についても理解が深まった」等、多くの感想・好評を頂きました。



ご参加くださった皆様方には、業務推進部一同感謝申し上げます。

業務推進部では、今後も皆様のお役に立てるような研修会や事業運営に努めてまいります。その際は他職種の方々もお誘い合わせのうえ奮ってご参加くださいますようによろしくお願い申し上げます。

## <報告2>

現在、昨年度に引き続き地域包括ケアシステムに関する推進リーダー導入研修事業として、介護予防推進リーダー導入研修(以下、介護予防研修)および地域包括ケア推進リーダー導入研修(以下、地域ケア研修)を開催しております。

今年度は、より多くの皆様に受講していただけるように各研修とも2回ずつの開催にいたしました。

地域ケア研修は9月11日(日)、10月2日(日)、介護予防研修は9月25日(日)にすでに終了いたしました。

各日程とも一日を通して講義やグループワークを交えた長時間の研修でしたが、参加者の皆様は時間の経過



も忘れてしまうほど、熱心に聴講されていました。

業務推進部一同、各推進リーダー取得のお役に立つことができ大変うれしく思っております。また、この研修で各推進リーダーを取得された皆様には、今後それぞれの地域でご活躍されるのを祈念いたしております。

さて、業務推進部では来年度も引き続き、地域包括ケ

アシステムに関する推進リーダー導入研修事業『介護予防推進リーダーおよび地域包括ケア推進リーダー導入研修』を開催する予定です。案内告知は来年春頃を予定しております。

※事前に日本理学療法士協会マイページ『地域包括ケア推進リーダー制度』をご確認ください。



**職 能 局** 保険部  
部長 岡 季子

いつも保険部活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今年度の活動として平成29年3月5日(日)に開催

される愛知県理学療法学会において、医療保険制度・介護保険制度Q&A(相談会)を開催致します。診療および介護報酬情報や日頃の業務に関わる疑問などがございましたら、お気軽にブースにお立ち寄りくださいますよう宜しくお願い致します。



**社 会 局** 健康福祉部  
部長 竹内 有三

いつも健康福祉部活動へのご協力とご理解を頂きありがとうございます。10月6日のに愛知県風船バレーボール大会と10月22日のセカンドライフフェスティバル(半田市)ご協力ありがとうございました。

健康福祉部では、理学療法士が主体性を持ち各行事に取り組み、県民の皆様方への一助となればと考え各活動を行っております。また、活動を通して各理学療法士とのコミュニケーション・絆を深めることができるとも考えております。今後も各活動を積極的に行って参りたいと思っておりますので、理学療法士皆様方のご助力を頂ければ幸いです。

各事業の今後の予定をお知らせします。

❖**スポーツ傷害予防事業**

一般の選手、指導者の方々を対象にスポーツ傷害予防教室を行います。

日程が決定している事業をお知らせ致します。ご興味ある方はご参加下さい。

詳細は県士会HPをご覧ください。

**<東三河ブロック>**

日 時:平成28年11月27日(日)  
13:00~16:00(受付12:30~)

場 所:豊橋創造大学 E棟

定 員:60名(先着順)

持ち物:室内履きシューズ・バスタオル・筆記用具・飲み物・動きやすい服装

内 容:思春期の女性スポーツ

~女性アスリートが抱える悩みをサポート

第1部講演 「女性とスポーツ」

~女性特有の課題とそのサポート~

講 師:小石マタニティクリニック

医師 宮本由記先生

第2部実技 「傷害予防の為にセルフチェックとトレーニング」

医療法人 整友会 スポーツ班 理学療法士

参加費:無料

申し込み・問い合わせ先:

健康福祉部 川口聖史

(豊橋整形外科 鷹丘クリニック)

E-mail:reha-takaoka@seiyukai.or.jp

**<名古屋東ブロック>**

日 時:平成28年12月10日(土)

14:30~17:00(受付14:00~)

場 所:トライデントスポーツ医療看護専門学校 E73教室

内 容:・スポーツ整形外科医の立場から見た足関節捻挫の病態と診断

(医療現場からの警鐘)

・足関節捻挫の予防とリハビリテーション

(適切なrice処置、テーピング、足関節捻挫に対する治療の最新知見、コアトレーニングや指導方法など)

・理学療法士から見た足関節捻挫に対するコンディショニング実技

(適切なストレッチング方法とコンディショニング)

講師：名古屋グランパスエイト

チーフチームドクター 深谷泰士先生

株式会社ゼニタ 信州大学大学院

理学療法士 錢田良博先生

大久保病院明石スポーツ整形・関節外科センター

理学療法士 山本昌樹先生

参加費：無料

申し込み・問い合わせ先：

健康福祉部 木村康人

(虹ヶ丘介護老人保健施設)

E-mail : ne\_kenko\_apta@yahoo.co.jp



**社会局** 小児福祉部  
部長 鵜飼 宏和

**「こどものリハビリ施設ガイド」  
情報更新実施のお知らせ**

小児福祉部では、県内の小児リハビリ実施施設の情報を掲載した「こどものリハビリ施設ガイド～療育マップ第2版～」(以下、ガイド)を、平成27年4月に作成いたしました。情報は平成26年7月時点のものであり、2年が経過したことになります。できるだけ新しい情報掲載が望ましい観点から、今回ガイドの更新を行うことになりました。

更新後のガイドは愛知県理学療法士会ホームページ(以下、HP)に掲載されます。(冊子の発行は致しません。)HP掲載は平成29年4月を予定しております。平成29年4月以降の見込みの情報として、現在の掲載情報に変更がある場合、情報の削除をされたい場合、或

いは新規に掲載をご希望の場合、下記メールアドレスまでご連絡下さい。返信にて具体的手順を説明させていただきます。

尚、情報掲載にあたる費用は一切かかりません。

誠に勝手ながら、ご連絡受付の締切を平成28年12月28日(水)とさせていただきます。

より多くの、より新しい情報を提供するため、皆様のご協力を賜れますようお願い申し上げます。

連絡先：愛知県心身障害者コロニーこぼと学園 診療部  
リハビリテーション科 鵜飼宏和

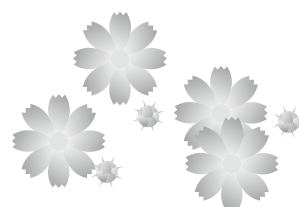
TEL : (0568) 88 - 0811 (内線3271)

受付メールアドレス : hirokazu\_ukai@yahoo.co.jp



**社会局** ニュース編集部  
部長 後藤 亮吉

ニュースは年4回(5月、8月、11月、2月)発行いたします。今号から理学療法士の地域での活動を紹介するページを新設しました。皆様の活動を土会ニュースでご紹介します。また、各部局・委員会の活動報告、研修会や求人情報等の案内の確認にお役立てください。



**ブロック局** **名古屋ブロック**  
 ブロック長 都築 晃

名古屋ブロック長の都築晃です。今年度より名古屋ブロックでは新しく東西南北4つの小ブロックにおいてそれぞれ研修会を行います。また2つのブロックにて症例検討(神経系と運動器)を行います。専門領域分化に準じ多様な研修機会を会員の皆様にご提供できるよう準備

いたしております。詳細は各ブロック長より御案内がニュースやweb等で確認できます。名古屋ブロック研修会と症例検討へ、ぜひご参加頂きますようよろしくお願い致します。



**常設委員会** **白書委員会**  
 委員長 西山 知佐

第3版となる愛知県理学療法白書は、諸事情により当初の予定より遅くなりましたが、今秋ようやく発行いたしました。また、この白書は、本会について知っていただきたく、自治体をはじめ、関係団体や養成校等に配布いたしました。

今回のサブテーマは「移りゆく社会背景と公益社団法人へのあゆみ」です。2012～14年度の3年間で一番大きな出来事は、公益社団法人化でした。各部署の事業報告では、公益社団法人化を意識した事業企画・運営を行った様子が伺えます。続いて、昨年実施しました会員個人調査の結果、医療・介護施設調査の結果を纏めました。こちらも保険制度をはじめ、社会背景や流れに影響を受けている様子が伺えます。今回の白書では、一部前回白書と比較している箇所がありますので、そちらも併せてご覧いただくと幸いです。今後の白書の在り方として、データを積み重ね、どんな変化をしているのかを把握することも大切だと考えております。

前回同様、会員の皆さまへ冊子の配布はごさいませんが、本会ホームページ「情報公開」のパナーでご覧いただくことができます。会の内外に向けて公開する観点をふまえ、「情報公開」のパナーで公開しております。ぜひ一度ご覧ください。

ここで感謝の意味を込めて、今回の白書作成でご協力いただいた方々全てのお名前を掲載させていただきます。(敬称略) 本当にありがとうございました。

大塚 圭	藤田保健衛生大学
壹岐 英正	渡辺病院
江口 雅之	中部労災病院
加藤 真弓	愛知医療学院短期大学
岡本 啓吾	熱田リハビリテーション病院
酒井 謙司	木村病院
山下 陸視	知多厚生病院
寺本 圭祐	アップヒンド訪問看護ステーション
初山 康平	榊原整形外科
青木 麻莉	渡辺病院
宮ノ尾明弘	大隈病院
岡 季子	老人保健施設瑞穂
伊藤 実那	善常会リハビリテーション病院
近藤 健司	中部労災病院
杉山 統哉	中部労災病院
上原 徹	名古屋市立西部医療センター
林 優子	名古屋第二赤十字病院
鈴木 康行	西尾市民病院
北村 哲也	愛知県済生会リハビリテーション病院
小出 祐	愛知県済生会リハビリテーション病院
藤井 博昭	鷺飼リハビリテーション病院
平田 貴大	上飯田リハビリテーション病院
段 直樹	善常会リハビリテーション病院
樋口 恵	相生山病院
神谷 友美	JAあいち中央 デイサービス刈谷南
竹下由美子	ジェネラス訪問看護ステーションほたるきた
筧 重和	あいち福祉医療専門学校
杉浦 直也	豊明第二老人保健施設

池田 智之	老人保健施設 メディコ平針	神谷 昌彦	かじた子どもクリニック
中田 賢芳	デイサービスおんじいの部屋	松澤裕美子	南部地域療育センター そよ風
武井 誠司	八千代病院	朝日 利江	あいち小児保健医療総合センター
阪本 隆大	ハビリスーツ木	井上 喜貴	東海市立あすなる学園
加納 弘崇	デイサービス shisei 太田川	神谷 猛	豊橋市民病院
江浜 崇	リハビリネクスト株式会社	小林 秀俊	豊橋市 健康部 こども発達センター
二井 俊行	JA愛知厚生連海南病院	水野 敦子	四軒屋整形外科クリニック
小塚 景子	自宅	板倉 仁幸	豊田市こども発達センター
中 淳志	訪問看護ステーション 仁 春日井	仲村我花奈	刈谷豊田総合病院
辻村 尚子	豊橋創造大学	柴田 大輔	ジェネラス訪問看護ステーションほたる
青山 満喜	名古屋大学大学院医学系研究科	田中 和彦	一宮西病院
内海 基至	松井整形外科	青木 一樹	松井整形外科
内藤 貞子	老人保健施設 尽誠苑	篠田 光俊	国際医学技術専門学校
内藤 善規	豊橋市民病院	竹市 真	さとう整形外科
相本 啓太	国立長寿医療研究センター	三宅わか子	星城大学リハビリテーション学院
田中 優介	合資会社ふれあい ふれあいデイサービス	仙波 浩幸	豊橋創造大学
鈴木 剛	愛知医科大学病院	松田 輝	中部大学
辻村 康彦	平松内科・呼吸器内科	藤田ひとみ	日本福祉大学
渡邊 文子	公立陶生病院	金井 章	豊橋創造大学
飯田 有輝	JA愛知厚生連海南病院	横山 真吾	豊橋創造大学
林 久恵	星城大学	野嶋 治	豊橋創造大学
後藤 雅明	蒲郡市民病院	平井 達也	いしい外科三好クリニック
柴田 賢一	名古屋ハートセンター	石川 康伸	西尾病院
平澤 純	公立陶生病院	梶 智大	西尾病院
河野 裕治	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院	比嘉 雅之	西尾病院
河野 健一	愛知医療学院短期大学	篠田 真志	西尾病院
加藤 俊明	春日井市民病院	杉浦 由佳	西尾病院
磯村 隆倫	さくら総合病院	鳥居 真己	西尾病院
近藤 健司	中部労災病院	三浦安佳里	西尾病院
森 友洋	名古屋大学医学部附属病院	林 徹	西尾病院
鈴木 幸秀	名古屋徳洲会病院		
粥川 知子	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院		
井戸田 学	老健フローレンス犬山		
大鐘 智博	一宮市立木曾川市民病院		
高木 寛人	名古屋第一赤十字病院		
深谷 佳希	愛知県三河青い鳥医療療育センター		
鶴飼 宏和	愛知県心身障害者コロニーこばと学園		
小笠原 徹	愛知県青い鳥医療療育センター		

今回のプロジェクトは終わりましたが、今後も白書作成事業は継続する予定です。他の事業と同様に、白書作成にも会員の皆さまのご協力が欠かせません。今までに参加された方には、経験者として是非とも力を貸していただきたいと思います。また、都合により参加できなかった方も、次回のプロジェクトにご応募いただけると幸いです。今後ともご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

**特設委員会** **災害対策委員会**  
委員長 西山 知佐

**<熊本地震での災害支援活動>**

当委員会委員の嶋津先生が、JIMTEFからの要請を受け、熊本県で活動しました。

**<大規模災害訓練および情報伝達訓練>**

前回お知らせしましたが、8月6日(土)に県の大規模訓練が実施されました。県の担当者からのご紹介があり、三士会の担当者で見学させていただきました。当日は県の職員はもちろんのこと、DMATや医療関係者、自衛隊、通信事業の関係者などが一同に介して行われていました。見学時は、「前日に大地震が発生した」という想定で訓練が進行しており、テレビ電話を通じて県外の災害拠点病院等との交信もなされ、訓練とはいえ緊迫感のある現場でした。

この日は同時に、三士会の役員を対象とした、合同での情報伝達訓練を行いました。この訓練を通じて、情報伝達に関する様々な課題が出てきましたので、委員会で検証します。その上で今回の経験を活かし、来年度は会員の皆さまを対象とした情報伝達訓練の実施を検討しております。

平時に何回か訓練を行わないと、有事の際にはおそらく何もできないでしょう。平時より経験を積むことで、災害時への対応を強めていきたいと考えています。日ごろの業務等でお忙しいとは思いますが、業務等の合間に参加していただける方法を提示するよう努力しますので、是非とも積極的なご参加・ご協力の程よろしく申し上げます。



**特設委員会** **地域包括ケア推進委員会**  
委員長 都築 晃

地域包括ケア推進委員会担当理事の都築晃です。愛知県から今年の委託事業(リハ専門職介護予防指導者育成事業等)が決定し、医療分野の補助金事業も同様に期待できる状況にあります。

今年の研修は、11月から12月にかけて県内の介護予防や総合事業、地域組織化先進地の実践紹介を含む5回の「地区研修会」と、1月から3月にかけて予防に関わる他団体を交えた2回の「全体研修会」を予定しております。ぜひ多くの参加をお待ちしております。

同時に現在、県下の市町村すべてに「介護予防に関する市町村との相談窓口担当者」を設置しております。随時該当市町の施設にはご案内を送っておりますが、10月1日現在40市区町(県内70市区町村)ほどで決定(暫定含む)しており、担当者同士の定期情報交換会も予定しております。この窓口設置は三療法士会の「リハビリテーション情報センター」機能の中心であり、各市町村からも相談窓口と、地域組織化の役割を期待されております。

各地の療法士活用事例を行政も調査しており、これから本格的に三専門職が地域で求められてきます。説明会開催の際にはぜひ各職場からご出席頂きますようお願いいたします。

**行政から会員への協力依頼**

依頼主：愛知県海部郡飛島村民生部保健福祉課  
依頼内容：理学療法士募集  
応募資格：理学療法士の資格を有し、かつ普通運転免許をもつ者

年齢：制限なし

募集人員：2名以上

勤務開始時期：平成29年4月から

業務内容：下記①～③のすべて

**①運動実践室での高齢者個別支援(60歳以上対象)**

勤務日時：毎週月曜日～金曜日(年末・年始・祝祭日は休み) 午前9時15分～午後3時30分

勤務場所：飛島村敬老センター

内容：ストレッチング、マシン筋力トレーニング、コンディショニング指導など

**②訪問運動支援(支援対象者があれば、保健師等と同行)**

訪問時間：上記①の勤務時間内

**③ケア会議への出席**

毎月第2水曜日4時～5時15分(祝祭日は日程変更)

毎月第3水曜日3時～4時(祝祭日は日程変更)

開催場所：飛島村すこやかセンター

給与条件等詳細は下記まで。

【問い合わせ先】愛知県海部郡飛島村

民生部保健福祉課 担当奥村 電話：0567-52-1001



地域活動で理学療法士が求められるもの

## 震災支援の経験から見えてきたもの —理学療法士の知識・技術の汎用—

中部リハビリテーション専門学校 教務主任 村上 忠洋

5月9日(月)から13日(金)まで、リハビリテーション関連12団体でつくられた、災害時のリハビリテーション支援団体「Japan Rehabilitation Assistance Team: JRAT (大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)」の一員として熊本地震のリハ支援に行く機会をいただきました。

帰ってから学生に「熊本でどんなことをしてきたのですか?」と聞かれましたが、学生の皆さんは被災者の方に体操などの機能訓練を行ってきたと誤解している方が多いようです。しかし私の担当した被災地での実際の活動は、①避難所の設備が高齢者や障害を持った方々でも利用しやすいかを評価し、困難な場合には出来るだけ利用しやすいような環境を整えること、②個別の被災者の生活状況を評価し、生活の不活発のリスクを最大限減らすような対策を取ることが主要な任務でした。



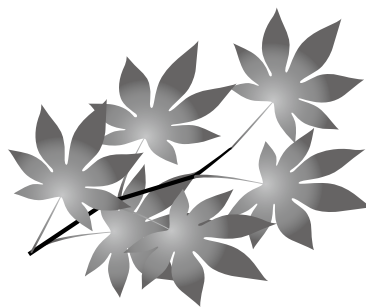
具体的な活動としては、避難所になっているある体育館では土足厳禁で靴を履き替えるようになっていました。立位の不安定な高齢者のことを考えるとそこに椅子を用意して、安全に靴の着脱ができるような環境を整えた方が良いと考え、施設の方々と調整しました。また、ある避難施設では起き上がりや立ち上がりが困難で寝たきりに近い状態になっていた被災者の方に、「たちあっぷ」という簡易据え置き式の「手すり」を、JRATの調整本部にお願いし、届けていただきました。次の日に伺ってみると被災者の方から非常に動きやすくなったと感謝されました。

こうした理学療法士として身に付けている基本的な知識や技術が、被災地での支援としてこれ程までに役立つものであることを知り、あらためて、リハビリテーションが生活再建のための技術であり理念であることを認識し、その汎用性を経験する機会となりました。

近い将来、この地域にも大震災が起きる可能性が高いと言われております。

我々が持っている理学療法士としての知識や技術は、病院や施設などといった限られた場以外に、災害の場合など地域社会においても、非常に大切な役割を果たせることを心に留め、いざという時に活躍していただければと思います。

県士会においても災害に関する取り組みを行っております。会員一人一人の基礎力として、興味を持っていただければ幸いです。



海外で活躍する理学療法士

スリランカで地域の理学療法士 ～スリランカと活動について～

JICA ボランティアの理学療法士 福井 麻耶

アーユボーワン。こんにちは。

2016年7月より、JICA ボランティア※の理学療法士としてスリランカに派遣されています。日本とは異なる文化・環境のスリランカにおけるリハビリテーションや障がい者の生活についてシリーズで紹介します。

スリランカはインドの南に位置し、北海道の8割程度の島国で、人口は2000万人程(日本の約6分の1)です。1983年以降25年以上にわたり、少数派タミル人の反政府武装勢力が、北・東部の分離独立を目指して活動し、政府側との間で内戦状態でしたが、2009年5月に政府軍が制圧し内戦が終結しました。その後、スリランカの治安は回復し、主産業である農業、繊維業に加えて、観光業も盛んになっています。

私は、この小さな島国スリランカの南部にあるマータラ県でCommunity Based Rehabilitation (地域に根ざしたりハビリテーション、以下CBR) の促進を郡事務所 社会福祉担当官やローカルボランティアと共にしています。スリランカでは多くの障がい者が家族の介護のもと自宅で生活しています。特に私の活動する地域は山間部であるため、障がい者にとってバリアが多く、病院へのアクセスも容易ではありません。また、スリランカにも療法士はいますが、まだまだ不足しているため、

地域の支援は十分に行えていません。その中で、私はボランティアとして、地域の家々を巡回し、CBRの中の理学療法士として障がい者本人や家族に対し、適切な運動方法の伝達や環境設定の助言を行っています。日本とは異なる生活様式や価値観、不足する福祉用具等、戸惑うことも多いですが、私自身とても勉強になっています。

今回は、スリランカの人々の生活と医療事情について紹介します。

※ JICA ボランティア事業

日本政府の ODA (政府開発援助) の一環として、独立行政法人国際協力機構が実施する事業です。開発途上国または日系人社会からの要請に基づき、それに合った技術・知識・経験を持つ、現地の人々のために活かしたい人を、選考と訓練を経て派遣します。活動では、現地の人々と共に生活し、働き、同じ言葉で話し、相互理解を図りながら、彼らの自助努力を促進するように活動することを特色とした、草の根レベルのボランティアです。

青年海外協力隊の派遣実績 (平成28年7月現在)

: 総合計 4176名。

内、PT 514名 OT 332名 ST 38名



## 愛知県士会・愛知県学会・協会主催の学会・研修会

### 平成28年度の各分科学会学術集会開催予定 (2016/10/5時点)

開催日程	分科学会	開催名	会場
2016年 11月6日(日)	日本小児理学療法学会	第3回日本小児理学療法学会学術集会 オータムカンファレンス in 三重	四日市市総合会館 (三重県四日市市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jspt/academic/">http://jspt.japanpt.or.jp/jspt/academic/</a>		
2016年 11月13日(日)	日本予防理学療法学会	日本予防理学療法学会第1回サテライト集会	東京都老人総合研究所 (東京都板橋区)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/prevention/news/satellite_1st.html">http://jspt.japanpt.or.jp/prevention/news/satellite_1st.html</a>		
2016年 11月20日(日)	日本心管理理学療法学会	臨床研究サポート事業	堂島リバーフォーラム (大阪府大阪市)
	<a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jscpt/">http://jspt.japanpt.or.jp/jscpt/</a>		
2016年 11月26日(土)	日本支援工理学療法学会	第4回日本支援工理学療法学会 学術集会	横浜リハビリテーション専門学校 (神奈川県横浜市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jptsat/gakujutu/dai4kai.html">http://jspt.japanpt.or.jp/jptsat/gakujutu/dai4kai.html</a>		
2016年 11月26日(土) ～27日(日)	日本神経理学療法学会	第14回日本神経理学療法学会 学術集会	仙台市民会館 (宮城県仙台市)
	<a href="http://mpta2016.wixsite.com/neuropt14sendai">http://mpta2016.wixsite.com/neuropt14sendai</a>		
2016年 11月27日(日)	日本理学療法教育学会	第4回日本理学療法教育学会 学術集会	福岡国際医療福祉学院 ももち 国際ホール (福岡県福岡市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jspte/">http://jspt.japanpt.or.jp/jspte/</a>		
2016年 12月3日(土) ～4日(日)	日本運動器理学療法学会	第3回日本運動器理学療法学会 学術集会	本多の森ホール (石川県金沢市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jsmspt/academic/zenkoku_2016.html">http://jspt.japanpt.or.jp/jsmspt/academic/zenkoku_2016.html</a>		
2016年 12月17日(土)	日本神経理学療法学会	第7回神経理学療法学会 サテライトカンファレンス (東京)	東京工科大学 (東京都大田区)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jsnpt/academic/20160320_016.html">http://jspt.japanpt.or.jp/jsnpt/academic/20160320_016.html</a>		
2017年 1月29日(日)	日本神経理学療法学会	第8回サテライトカンファレンス 京都	佛教大学 (京都府京都市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jsnpt/academic/20160320_016.html">http://jspt.japanpt.or.jp/jsnpt/academic/20160320_016.html</a>		
2017年 2月11日(土)	日本地域理学療法学会	平成28年度地域理学療法フォーラム	大府市勤労文化会館 (愛知県大府市)
	ホームページ URL <a href="http://03jsccpt.jimdo.com/">http://03jsccpt.jimdo.com/</a>		
2017年 2月19日(日)	日本神経理学療法学会	第9回サテライトカンファレンス 福岡	福岡国際医療福祉学院 ももち 国際ホール (福岡県福岡市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jsnpt/academic/20160320_016.html">http://jspt.japanpt.or.jp/jsnpt/academic/20160320_016.html</a>		
2017年 2月26日(日)	ウィメンズヘルス・メンズヘルス 理学療法部門	第1回ウィメンズヘルスマンズヘルス 理学療法部門研究会	広島国際大学広島キャンパス (広島県広島市)
2017年 3月5日(日)	日本予防理学療法学会	日本予防理学療法学会第2回サテライト集会	名古屋学院大学 (愛知県名古屋市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/prevention/news/2nd_satellite.html">http://jspt.japanpt.or.jp/prevention/news/2nd_satellite.html</a>		
2017年 3月12日(日)	日本糖尿病理学療法学会	第2回症例報告学術集会	兵庫医療大学 (兵庫県神戸市)
	ホームページ URL <a href="http://jspt.japanpt.or.jp/jsptdm/news/PT2.html">http://jspt.japanpt.or.jp/jsptdm/news/PT2.html</a>		
2017年 3月12日(日)	精神・心理領域理学療法部門	第2回精神・心理領域理学療法部門研究会	田町カンファレンスルーム (東京都港区)

※日本理学療法士協会および日本理学療法士学会のホームページに学術大会の最新情報を掲載しております。

学術大会紹介ページ URL : <http://jspt.japanpt.or.jp/conference/>

セミナー講習会情報閲覧ページ URL : <https://mypage.japanpt.or.jp/jpta/se/seSeminerOpenList.html>

※本一覧表掲載の学術集会につきまして、現在HP掲載準備中のもものございますことご了承下さい。

# 第26回 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

THE AICHI SOCIETY FOR PHYSICAL THERAPY

# 愛知県理学療法学会 学術大会



会期 **2017年3月5日(日)**

大会長 **石田 和人** [名古屋大学大学院 医学系研究科]

会場 **愛知県産業労働センター**  
**ウインクあいち** 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

**演題募集のご案内**

演題募集 2016年 10月11日(火) 14時～  
 期間 2016年 11月9日(水) 14時まで

<http://www.cs-oto.com/apta26/>

## PROGRAM

<p><b>特別シンポジウム</b></p> <p><b>理学療法の本質と未来予想図</b>        — 理学療法を創造する —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西野 仁雄 先生 (名古屋立大学 元学長、同名誉教授)</li> <li>辻井 洋一郎 先生 (名古屋大学医学部 元教授)</li> </ul>	<p><b>特別企画</b></p> <p><b>理学療法とオリンピックの未来予想図</b>        ～リオから東京へ～</p> <p>鳥居 明久 先生 (愛知医療学院短期大学)</p>	<p><b>シンポジウム</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>理学療法の国際化と未来予想図</li> <li>神経系理学療法の未来予想図</li> <li>理学療法新規分野の未来予想図          ～保険点数化の実現に向けて～</li> </ol>
---	--	--



大会事務局: 名古屋大学大学院医学系研究科 〒461-8673 名古屋市中村区大幸南1-1-20

主催: 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会  
 共催: 公益社団法人 愛知県理学療法士会

運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン  
 〒451-0075 名古屋市中村区康生通2-26 TEL: 052-508-8510 / FAX: 052-508-8540 E-mail: [apta26@cs-oto.com](mailto:apta26@cs-oto.com) URL: <http://www.cs-oto.com/apta26/>

## ◎平成28年度名古屋ブロック研修会 (名古屋南ブロック主催)

履修ポイント：

- ・症例検討発表者：新人教育プログラム  
「C-6 症例発表」
- ・特別講演参加：新人教育プログラム  
「C-2 運動器疾患の理学療法」
- ・新プロ修了者：終日参加で履修ポイント「10ポイント」  
神経理学療法：a認定（脳卒中）、e専門

※研修会当日はPCによる受付となりますので、必ず  
会員証をご持参下さい。

日 時：平成29年1月9日（月）

13:30～16:30（受付13:15～）

会 場：栄ガスビル 5階 会議室501

愛知県名古屋市中区栄三丁目15-33

参加費：無料

内 容：①13:30～15:00 特別講演

テーマ：「変形性膝関節症に対する理学療法」

講 師：名古屋大学医学部附属病院

リハビリテーション部 加古 誠人先生

②15:00～16:30

運動器理学療法の症例検討会

対 象：愛知県理学療法士会会員または介護、医療に従事する方

申し込み方法：

1) 参加申し込み方法

申込期間：平成28年12月1日（木）

～平成28年12月31日（土）まで

メールの件名に「**研修会参加申し込み**」、本文に①～⑦を記載し、下記の宛先にお申し込みください。

①所属 ②会員番号 ③氏名 ④氏名のフリガナ  
⑤メールアドレス ⑥西暦表示の生年月日（例：20141208）  
⑦新人教育プログラム終了の有無

※応募多数の場合はこちらからご連絡させていただきますが、原則として参加登録確認の返信は控えてさせていただきます。悪しからずご容赦く

ださい。

2) 運動器理学療法の症例検討会の演題応募方法

応募期間：平成28年12月1日（木）

～平成28年12月31日（土）まで

メールの件名に「**症例検討会演題応募**」、本文に上記の①～⑦、⑧演題名を記載し、下記の宛先にご応募ください。応募から3日以内に返信メールを送らせていただきます。もしも返信がない場合は、お手数ですが再度メールをいただきますようお願いいたします。

＜演題発表要項＞

- ・発表内容は原則として神経理学療法をテーマとしたものに限りま。
- ・発表形式は口述発表、発表時間は5分以内です（時間厳守）。発表終了1分前にベル1回、終了時にベル2回でお知らせします。ベル2回後は速やかに発表を終了してください。質疑応答は5分程度を予定しています（演題数による変更あり）。
- ・動画やアニメーションの使用は可能ですが、事前に各自で動作確認をお願いいたします。
- ・当日はご自身のパソコンでプレゼンテーションを行っていただきますので、ご持参ください。
- ・スライドの進行は演者自身で行い、質疑応答やセッションの進行は座長の指示に従ってください。

問い合わせ・応募先：

藤田保健衛生大学病院

リハビリテーション部 加藤正樹 宛

e-mail：ptnagoyaminami@gmail.com

## ◎平成28年度 愛知県理学療法学会アドバンスセミナー ～管理者に必要な知識とコーチングスキル～

主 催：NPO 法人愛知県理学療法学会 学術局研修部

日 程：平成29年2月11日（土）、12日（日）、2日間

会 場：日本福祉大学東海キャンパス

（愛知県東海市太田町）

アクセス：名鉄常滑線太田川駅

（金山駅から特急で15分）より徒歩5分

対 象：愛知県理学療法学会会員

経験年数およそ7～15年

参加費：8,000円(2日間昼食代含む)

定 員：約30名、要事前申し込み

応募方法：E-mailにて必要事項を明記のうえ、下記アドレスにご送信ください。受信後数日以内に受付確認の返信を致します。応募者多数の場合、選考させていただくことがあります。参加確定は12月14日以降に改めてご案内いたしますので、ご注意ください。

アドレス：pt.aichi.kenshu@gmail.com

必要事項：氏名・所属・経験(資格取得後)年数・職場での役職・参加目的

募集期間：平成28年11月14日～12月14日

#### 【プログラム】

<1日目>

9:30～10:00

臨床部門管理者総論(30分)

講師：大塚圭先生(藤田保健衛生大学)

10:00～10:30

専門理学療法士と認定理学療法士制度(30分)

講師：村瀬政信先生(相生山病院)

10:40～12:10

医療事故・個人情報・ハラスメント(90分)

講師：小島崇宏先生(大阪A&M法律事務所／  
大阪大学医師)

12:10～13:00

ランチディスカッション1(50分)

休憩

13:30～14:30

これからの医療介護におけるPTの役割(60分)

講師：金田嘉清先生(藤田保健衛生大学)

14:40～17:40

脳科学からみた人間関係論(180分)

講師：松尾篤先生(畿央大学)

終了後、会場近隣(太田川駅周辺)にて懇親会を予定(参加費別)

<2日目>

10:00～15:00(休憩1時間含む)

中間管理職におけるコーチング(240分)

講師：大山裕之先生(コンティニュー株式会社)

15:00～16:00

ディスカッション2(60分)

総括(30分程度)

### ◎平成28年度名古屋ブロック研修会・ 症例検討会(名古屋西ブロック主催)

(履修ポイント)

・症例検討会発表者：新人教育プログラム

「C-6 症例発表」

・特別講演 参加：新人教育プログラム

「C-1 神経系疾患の理学療法」

・新プロ修了者：特別講演と症例検討参加で履修ポイント「10ポイント」

神経理学療法：a認定(脳卒中)、e専門

日 時：平成29年2月12日(日)

13:30～16:45(受付13:10～)

会 場：ウインクあいち(愛知県名古屋市中村区名駅4  
丁目4-38)11階 1102会議室

参加費：無料

内 容：①13:30～15:00 特別講演

テーマ：「脳血管障害者の歩行再建(仮)」

講 師：藤田保健衛生大学病院 リハビリテーション部  
平野 明日香 先生

②15:15～16:45 神経理学療法の症例検討会

対 象：愛知県理学療法士会会員または医療、介護に従事する方

1)参加申し込み方法

申込期間：平成29年1月4日(水)～

平成29年1月31日(火)まで

メールの件名に「研修会参加」、本文に①～⑦  
を記載し、下記の宛先にお申し込みください。

①所属 ②会員番号 ③氏名 ④氏名のフリガナ

⑤メールアドレス ⑥西暦表示の生年月日（例：  
20141208）⑦新人教育プログラム終了の有  
無

※応募多数の場合には返信させていただくことが  
ありますが、原則として参加登録確認の返信は  
控えさせていただきます。悪しからずご容赦く  
ださい。

## 2) 神経理学療法の症例検討会の演題応募方法

応募期間：平成28年12月1日（木）

～平成29年1月31日（火）まで

メールの件名に「症例検討会演題応募」、本文  
に上記の①～⑦、⑧演題名を記載し、下記の宛  
先にご応募ください。応募から3日以内に返信  
メールを送らせていただきます。もしも返信が  
ない場合は、お手数ですが再度メールをいただ  
きますようお願いいたします。

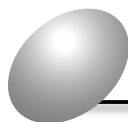
### <演題発表要項>

- ・発表内容は原則として神経理学療法をテーマとした  
ものに限ります。
- ・発表形式は口述発表、発表時間は5分以内です（時  
間厳守）。発表終了1分前にベル1回、終了時にベル  
2回でお知らせします。ベル2回後は速やかに発表  
を終了してください。質疑応答は5分程度を予定し  
ています（演題数による変更あり）。
- ・動画やアニメーションの使用は可能ですが、事前に  
各自で動作確認をお願いいたします。
- ・当日はご自身のパソコンでプレゼンテーションを行  
っていただきますので、ご持参ください。
- ・スライドの進行は演者自身で行い、質疑応答やセッ  
ションの進行は座長の指示に従ってください。

### <宛先>

中部労災病院 中央リハビリテーション部 長谷川宛  
e-mail：churourehabu@gmail.com





## その他の研修会

### ◎筋膜マニピュレーション One Day Work Shop

日 時：11月19日（土） 10時30分～17時30分  
（受付開始10：00）

内 容：「筋膜マニピュレーションOne Day Work Shop」

主に座学となりますが、当日に被験者を募り、治療デモを行う予定です。

どこかに痛みがあって治療を希望する方は、肌を露出できる服装をご用意下さい。

講 師：竹井 仁 先生（首都大学東京大学院）

会 場：平成医療短期大学（岐阜市黒野180番地）

受講費：8,000円

定 員：未定

申込先：申込メールアドレス

kinkinmakuken@gmail.com

筋・筋膜アプローチ研究会岐阜支部事務局

Eメールにて下記アドレスにお申込みください。

（パソコンからの返信が可能なアドレスにてお申込みください）

・件名に「1Day申込」と記載ください。

・本文に ①氏名 ②所属施設 ③電話番号 を記載ください。

※申込メール受領後、5日以内には受付完了の返信メールを致します。

返信メールが届かない場合は、お手数ですが下記電話にてご確認ください。

締 切：11月13日（日）17:00

主 催：筋・筋膜アプローチ研究会岐阜支部

平成医療短期大学リハビリテーション学科内  
田島嘉人

TEL 058-234-3324

その他：このたび、筋・筋膜アプローチ研究会岐阜支部第5回講習会として、筋膜にアプローチするメソッドの一つである“筋膜マニピュレーション”、その講習会の一つである「筋膜マニピュレーションOne Day Work Shop」を行うこととなりました。

近年、西洋医学において「身体のシンデレラ組織」と呼ばれる“筋膜”への関心は急激に高まりつつあります。理学療法においても治療対象組織として“筋膜”の概念を取り入れることは非常に有益であると感じております。

今回は、アジア圏内で唯一のFascial Manipulation Teacherである首都大学東京大学院の竹井先生を講師に迎え、筋膜マニピュレーション（Fascial Manipulation）の公式な講習会の一つである「Fascial Manipulation One Day Work Shop」を日本で初めて開催することとなりました。

今回は、アジア圏内で唯一のFascial Manipulation Teacherである首都大学東京大学院の竹井先生を講師に迎え、筋膜マニピュレーション（Fascial Manipulation）の公式な講習会の一つである「Fascial Manipulation One Day Work Shop」を日本で初めて開催することとなりました。

・内容、当日のプログラムなどについては下記のブログをご参照ください。

「筋・筋膜アプローチ研究会岐阜支部ブログ」  
<http://ameblo.jp/kinkinmakuken/>

・筋膜マニピュレーションの概略につきましては下記の公式ホームページをご参照ください。

「Fascial Manipulation」  
<http://www.fascialmanipulation.com/en/>  
「Fascial Manipulation japan」  
<http://fmajapan.jimdo.com/>

ご多忙中とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。





## ◎第60回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

- 日 時：平成28年11月27日（日）  
13：00～16：20（開場12：30）
- 内 容：テーマ「コメディカルが行なう日本糖尿病療養指導士試験対策」  
講演1.糖尿病の病態から治療について  
講演2.療養指導のポイント  
※日本糖尿病療養指導士資格取得希望者以外の方にとっても勉強になる内容ですので、糖尿病およびその療養指導に関心のある方は、ぜひご参加ください
- 講 師：名古屋市立大学看護学部非常勤講師・高橋ファミリークリニック  
糖尿病看護認定看護師 土川 睦子
- 会 場：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟3階講堂（名古屋市昭和区鶴舞65：JR中央線「鶴舞」駅を下車し、名大病院口改札を出て徒歩約5分）
- 受講費：愛知県糖尿病療養指導研究会会員 無料  
その他参加者 1,000円
- 定 員：200名
- 申込先：事前に申し込みの必要はありませんので、参加ご希望の方は当日会場まで直接お越し下さい
- 締 切：特にありません
- 主 催：愛知県糖尿病療養指導研究会
- 共 催：公益社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会
- 後 援：公益社団法人 愛知県理学療法士会

その他：○糖尿病療養指導士の方に対しては、認定更新のための研修会として2群1単位が認定される予定です。

○本研修会は、参加により（公社）日本理学療法士協会専門理学療法士ならびに認定理学療法士（代謝）資格取得および更新に関わる履修ポイントとして、5ポイント（大項目2-6）が取得できる予定です（現在申請中）。参加時にPT協会会員番号が必要ですのでご準備ください。

○問合せ先：愛知県糖尿病療養指導研究会事務局

医療法人社団喜峰会東海記念病院 藍川智津  
（mail：aichicde2003@yahoo.co.jp）、または医療法人三仁会あさひ病院リハビリテーション科 横地正裕（TEL：0568-85-0077）

## ◎株式会社gene主催セミナー①

『腱板断裂－病態理解とアプローチ』  
日 時：2016年12月4日（日）  
10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：

### 【ねらい】

腱板断裂の発生メカニズムと病態を理解するとともに、アプローチ方法とそれに必要な触診技術を習得する。

### 【講義概要】

腱板断裂は腱板の退行変性を基盤として発症し、疼痛や運動障害を主訴とする疾患である。

しかし、腱板断裂を来していても全く症状を認めない無症候性腱板断裂も数多く存在する。

これはいったいどういうことだろうか？

また断裂した腱板は自然修復しないが、この腱板断裂に対する保存療法の効果とはいったい何なのだろうか？

腱板断裂は日常診療で遭遇する機会が多い疾患であるが、病変そのものを疼痛や運動障害の直接的原因と捉えてしまうと、上記した矛盾や疑問が生じてくる。

本セミナーでは、これらの矛盾や疑問を解決すべく無症候性腱板断裂と症候性腱板断裂の違いや病態の解釈について解説するとともに、そのアプローチについて実技を交えながら述べていくこととする。

### 【プログラム】

- 1) 腱板断裂の分類・無症候性腱板断裂と症候性腱板断裂の違い
- 2) アプローチに必要な触診とアプローチ方法の習得

※実技がございましたので肩関節を観察しやすい服

装（タンクトップなど）をお持ちください

講師：福吉正樹先生

（名古屋スポーツクリニックリハビリテーション科・理学療法士）

会場：名古屋国際会議場2号館3階会議室232+233

受講費：12,500円（税込）

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県理学療法士会後援）

えるのか…表面的な「答え」ではなくて、臨床の現場で活用できるように「考え方」をご説明します。

講師：佐藤良枝先生

（公益財団法人積善会曾我病院・作業療法士、バリデーションワーカー）

会場：名古屋市中小企業振興会館4階第7会議室

受講費：12,500円（税込）

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene（愛知県理学療法士会後援）

## ◎株式会社gene主催セミナー②

『リハスタッフのための認知症のある方への対応入門

～評価のすすめ方～』

日時：2016年12月11日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：

### 【講義概要】

認知症のある方を担当することになったけれど、どのように評価したらよいかわからなくて困ってしまった…という経験はありませんか？

本セミナーでは、初対面でのやりとりから評価の手順、情報収集のしかた等について事例を提示しながら具体的にご説明します。

認知症は脳の病気です。脳の器質的な変化の結果、暮らしの困難がさまざまな場面で

さまざまな現れ方をするので、「優しく」「楽しく」「丁寧に」接するだけでは不十分なのです。

私たちリハスタッフは「障害」のプロ、換言すれば「能力」のプロです。

「能力」のプロとして、認知症のある方の行動観察からどのように「能力」を見いだすのか、行動観察に最低限必要な知識とは何か、見いだされた「能力」を活用した対応をどのように考

## ◎株式会社gene主催セミナー③

『変形性膝関節症へのPTアプローチ

～膝の機能解剖をどのように考えるのか？～』

日時：2016年12月17日（土）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：

### 【講義概要】

変形性膝関節症に限らず膝関節障害を診るにあたっては、膝関節における機能解剖学と、病態を絞り込んでいくための触診技術ならびに検査技術の正確さが必要である。

なぜならば、我々が行う運動療法技術は必ず「適応」の上に実施されるべきものであり、そのための病態観察ならびに病態洞察は適切な技術選択において欠かせない能力であるからである。

病態に合った運動療法を行えば患者は当たり前のように良くなるし、病態に合わない治療では効果はあがらない。整形外科のなかでは「安定した関節は疼痛を出さない」と言われる。では、膝関節において不安定とは何か？そして安定させるとはどういうことであろうか。

ありふれた変形性膝関節症において見られる疼痛も様々である。歩行時痛、階段昇降時痛、膝関節伸展時痛または屈曲時痛正座時のみ生じる膝窩部痛など、変形性膝関節症患者が訴える疼痛は多岐にわたる。これら疼痛が運動療法によって消失したとき、膝に生じていた変形は消失するであろうか？我々は一体膝関節の「何を」治しているのでしょうか？

膝関節機能解剖学、超音波所見などを盛り込み、私なりの答えを出してみたいと考える。

講師：林典雄先生

(運動器機能解剖学研究所所長・理学療法士)

会場：名古屋国際会議場4号館3階会議室431+432

受講費：12,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県理学療法士会後援)

### ◎株式会社gene主催セミナー④

『変形性膝関節症へのPTアプローチ～実技編～』

日時：2016年12月18日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：

#### 【講義概要】

「変形性膝関節症」と診断された膝関節は、決して画一的な病態を表すものではありません。関節に生じる変形性変化はあくまで、関節に作用する「力学的環境に適応した生体反応である」という観点で、膝関節診療に当たる必要があります。例えば、OA grade Iの症例に生じている膝関節痛と、OA grade IVの症例に生じている膝関節痛とでは、病態も治療方針も異なってくるのは当然です。

実技編では、変形性膝関節症で発生する症状を的確に分類するための評価技術とともに、病態

分類された機能障害に対する具体的な運動療法技術について紹介します。当たり前のことを当たり前にすることの難しさ、機能解剖学の重要性の再認識と関連組織を捉えきる触診技術の大切さを、再認識する機会になれば幸いです。

そして、この実技セミナーをきっかけにして、日々プロとしての技術(評価技術&治療技術)の鍛錬(「鍛」は1000日練習すること、「錬」は10000日練習すること)を意識していただければ、その恩恵はすべて患者に還元されるはずです。

※本セミナーは、12月17日(土)開催の『変形性膝関節症へのPTアプローチ～膝の機能解剖をどのように考えるのか?～』の内容をもとに実技を行いますので、必ずご受講をお願いいたします。

これまでに弊社が開催した同タイトルのセミナーを受講された方もご参加いただけますが可能であれば、上記セミナーへのご参加を推奨いたします。

講師：林典雄先生

(運動器機能解剖学研究所所長・理学療法士)

会場：名古屋国際会議場2号館2階会議室222+223

受講費：12,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県理学療法士会後援)

### ◎株式会社gene主催セミナー⑤

『リハスタッフのためのクライアントマネジメント

～どのように人を動かすのか～』

日時：2017年1月8日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：

#### 【ねらい】

1. クライアント(患者さん・利用者さんなど)との向き合い方と管理の意味が理解できる

2. マネジメントとはどういったものなのか理解し、  
マネジメントの入り口に立つことができる

**【講義概要】**

マネジメントが徹底的に苦手な職種がある。理学療法士等である。

私たちが卒業した養成校では、医療モデルでの教育が主体であり、たとえば治療理学療法を主に習得してきた。しかし、日本の人口構造の変化により医療としては、改善可能性の低い対象者が徐々に増加し、治療という概念に加え、予防とリハビリテーションという生活モデルの考え方の必要性が増してきた。

しかし、私たちは全く、クライアントマネジメントという観点での教育を受けておらず、途方にくれ、無力感に苛まれることが多々ある。

マネジメントとはいったい何なのか？そして、マネジメントする人間はどのようにあるべきかということをお伝えしようと思う。

マネジメントは、走るのが速い遅いということとよく似ている。

生まれつき足の速い人がいる。遅い人もいる。

ただ、練習すればある程度は皆、速くなる。

効率のよい練習の繰り返し方を伝えたいと思う。

**【プログラム】**

1. マネジメントとはいったいなにか？
  - ① やってこないから、やらせていないへ
  - ② なぜ理学療法士等はマネジメントが苦手なのか？
2. マネジメントの実践
  - ① マネジメントに必要な振舞いとマナー
  - ② クライアントと向き合うときに便利な知識
  - ③ 困難ケースをどのようにとらえるのか？

講師：張本浩平

(理学療法士・株式会社gene代表取締役)

会場：名古屋市中企業振興会館4階第7会議室

受講費：12,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県理学療法士会後援)

**◎株式会社gene主催セミナー⑥**

『スポーツリハビリテーションにおける

下肢アライメントの評価とコントロール』

日時：2017年1月9日(月・祝)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：

**【講義概要】**

スポーツ動作は、歩く・走る・飛ぶ・着地するなど共通の下肢動作が行われ、これらの動作を行っている間、下肢関節には圧縮・伸張・屈曲・回旋・剪断という物理的ストレスを受けている。動的下肢アライメント不良例は、物理的ストレスを回避するのに不都合であるためスポーツ障害や外傷を生じやすい状態となる。

競技復帰を目的としたスポーツリハビリテーションを進めていくには、静的および動的下肢アライメントを的確に評価できることは重要であり、その評価をもとにしたアライメント修正そしてパフォーマンス向上プログラムを展開していかなければならない。

そこで本講演では、静的下肢アライメントなどの骨形態特徴による動作場面での下肢(アライメントおよび筋活動)への影響と動的下肢アライメント不良例に対する評価視点と修正させる理学療法アプローチをお伝えします。

※2人もしくは3人一組での実技を行います。

ハーフパンツ等の膝が出る服装をご用意ください。

講師：金子雅明先生(株式会社KINETIC ACT 取締役・理学療法士、日本体育協会公認アスレティックトレーナー)

会場：名古屋国際会議場2号館3階会議室232+233

受講費：12,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。  
 締切：定員になり次第締め切り  
 主催：株式会社gene（愛知県理学療法士会後援）

### ◎株式会社gene主催セミナー⑦

『関節可動域制限の発生メカニズムと  
 それに対する運動療法の考え方』

日時：2017年1月15日（日）  
 10：00～16：00（受付9：30～）

内容：

#### 【講義概要】

臨床において関節可動域（以下、ROM）制限は極めて発生頻度が高く、その重篤化はADL制限やQOL低下を招くことから、その対策はリハビリテーション（以下、リハ）の重要課題である。ROM制限を引き起こす原因としては、拘縮や強直、筋収縮、脱臼偏位、関節内遊離体など様々なものがあげられるが、その中で、リハによって改善が期待できるものは拘縮と筋収縮である。周知のように、筋収縮に関してはリハの様々な治療戦略によって即時に軽減させることが可能で、これに由来したROM制限に難渋することは少ない。一方、拘縮は皮膚や骨格筋、関節包などの関節周囲軟部組織が器質的に変化し、その伸張性が低下したことで生じたROM制限であり、病巣部位も多岐にわたるため治療に難渋することが多い。

そして、これらの組織には共通してコラーゲンの増生に伴う線維化の発生が認められ、これが拘縮の発生メカニズムに寄与しており、最近はその分子機構の解明も進んでいる。

そこで、本講義ではROM制限、特に拘縮の発生メカニズムに関する最新知見を紹介し、運動療法を含んだリハビリテーションの考え方について私見を交えながら概説する。

講師：沖田実先生  
 （長崎大学大学院医歯薬学総合研究科リハビリテーション科学講座 運動障害リハビリテー

ション学分野教授・理学療法士）

会場：IMYホール4階大会議室  
 受講費：12,500円（税込）  
 定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。  
 締切：定員になり次第締め切り  
 主催：株式会社gene（愛知県理学療法士会後援）

### ◎株式会社gene主催セミナー⑧

『リハスタッフのための認知症のある方への  
 評価から対応まで』

日時：2017年1月22日（日）  
 10：00～16：00（受付9：30～）

内容：

#### 【講義概要】

- リハスタッフが認知症のある方に寄与できる3つの基本的な方向性
- (1) ADLの維持・改善
  - (2) 能力と特性の発揮：Activityの選択と場面設定の工夫
  - (3) BPSDを含めた生活障害の軽減についてご説明します。
- 具体的な対応の過程においてポイントとなる視点は
- ・認知症のある方の能力を見いだし活用する
  - ・Errorless Learning 誤りなし学習の概念を応用する
- の2点です。
- 効果的な対応の工夫をするためには、障害と能力と特性がどのように目の前の行動というカタチとなって現れているのか的確に行動観察することが求められます。
- 行動観察から得られた評価をもとにしてどのように対応を工夫していくのか具体的に事例を通してご説明します。

※『リハスタッフのための認知症のある方への対応と評価』よりタイトル及び講義概要を変更致しました。

上記セミナーを受講された方は「再受講割引」を適用してのご参加が可能です。

講師：佐藤良枝先生

(公益財団法人積善会曾我病院・作業療法士、バリデーションワーカー)

会場：ゼミナールプラザ(名古屋金山研修センター) 4階第6会議室

受講費：12,500円(税込)

定員：50名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

## ◎株式会社gene主催セミナー⑨

『姿勢と歩行の神経メカニズムと

ニューロリハビリテーション』

日時：2017年2月12日(日)

10:00～16:00(受付9:30～)

内容：

### 【ねらい】

ヒトの姿勢バランスおよび歩行の神経メカニズムについて学び、それを活かしたニューロリハビリテーションの実際について学び、実際の現場での意思決定に役立てる。

### 【講義概要】

ヒトが二足で立ち、その姿勢をコントロールしながら歩行へと進化した過程には、貴重な食料を運搬する際に両手を使って物を持ち、二足歩行を使って一度に運ぼうと運搬効率を高めたことが推察されています。これらは他者に対する社会的感情から生み出した人間らしい機能と言えるわけです。

この姿勢バランスや歩行には、

- 1 大脳皮質により駆動される随意的プロセス、
- 2 大脳辺縁系や視床下部、脳幹への投射による情動的プロセス、
- 3 脳幹および脊髄における無意識かつ自動的に遂行する自動的プロセス

といった3つがシステムとして関わり、これら複雑な中枢神経系の機能によって円滑にコントロールかつ遂行できるわけです。

本講演では、関連職種にとって基本となるであろう姿勢バランスおよび歩行の神経メカニズム、ならびにそれを考慮したニューロリハビリテーションについて解説します。

### 【プログラム】

- 1) 姿勢バランスの神経メカニズムとニューロリハビリテーション
  - ・姿勢バランスのための感覚フィードバック
  - ・姿勢バランスのための感覚フィードバックの重み付け
  - ・姿勢バランスのための予測・適応メカニズム
  - ・姿勢バランスに関する要因とそれに基づく臨床ストラテジー
- 2) 歩行の神経メカニズムとニューロリハビリテーション
  - ・歩行におけるCentral Pattern Generatorモデル
  - ・歩行における立脚期・遊脚期の神経メカニズム
  - ・応用歩行に関わる神経システム
  - ・歩行に関する要因とそれに基づく臨床ストラテジー

講師：森岡周先生

(畿央大学健康科学部理学療法学科教授・理学療法士)

会場：名古屋市中小企業振興会館7階メインホール

受講費：12,500円(税込)

定員：200名

申込先：株式会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：株式会社gene(愛知県士会後援依頼申請中)

## 研修会主催者へのお知らせ

### 認定・専門理学療法士制度ポイント申請に関する注意点

2016年6月、日本理学療法士協会より、都道府県士会開催の研修会に関する通達がありました。その中で、認定・専門理学療法士ポイント認定を希望する研修会においては、原則として講師（うち1名以上）が該当する領域の認定・専門理学療法士を取得している必要のあることが明記されました。今後、研修会を企画し、ポイントの認定を申請される場合におきましては、この点を十分に考慮していただきますようお願い申し上げます。不明な点がございましたら、

NPO 法人愛知県理学療法学会 HPよりお問い合わせください。また、認定・専門理学療法士ポイント認定講習会ならびに研修会の認証規定の詳細につきましては、下記 URL をご確認ください。

認定・専門理学療法士ポイント認定講習会  
ならびに研修会の認証規定  
<http://www.aichi-npopt.jp/dl/info/160829.pdf>

## <会員の皆様へ事務局からのお知らせ>

### ①平成28年度会費納入について

今年度の会費納入につきましてカード決済登録以外の方には払込票が日本理学療法士協会から届いているかと思えます。会費未納のままですと、会員権利停止となり、研修会等にご参加いただけなくなることがございますので至急のご対応をお願いいたします。なお振込票には使用期限がありますので失効している場合は再発行をお申し出ください。

自動的に毎年会費の支払いができる楽天カード登録をお勧めいたします。お手持ちの楽天カードを登録することも可能ですし、楽天カードをお持ちでない場合は日本理学療法士協会マイページよりお申込み・支払設定をしていただきますと支払更新手続きも自動で可能となりますので是非手続きをしてください。

### ②会員情報へのメールアドレス登録のお願い

愛知県理学療法士会では、会員向け情報の提供手段としてメール通信を実施しております。会員の皆様には日本理学療法士協会マイページよりメールアドレスの登録・メール配信希望登録をお願いします。（職場・個人どちらでも構いませんが、緊急連絡等もあり

ますので、できる限り個人メールアドレスの登録をお願いします。また、携帯アドレスでは受信できない場合がありますのでご注意ください。）

### ③ 所属先登録・変更のお願い

会員動向の正確な把握のため、所属施設をお持ちの会員の方は（可能なら非常勤の場合も）施設会員への登録をお願いします。職場の異動、自宅住所等の変更も速やかに日本理学療法士協会マイページより登録変更をお願いします。特に入会時等、所属施設の登録がされていない場合がありますので一度ご確認ください。

### ④一般会員からの情報提供・ニュース投稿のお願い

地域支援活動・災害ボランティア活動など会員の皆様の活動は多岐にわたっております。理学療法士の活躍を県民にお知らせするためにもニュース投稿をお願いしたいと思います。投稿を希望される方は是非事務局まで一報ください。ご協力をお願いします。

会 員 動 向		
(平成28年7月1日～8月31日)		
総会員数 5,304名(平成28年9月30日現在)		
施設会員	施設会員 4,419名 (所属施設 789施設)	
自宅会員	自宅会員 885名	
新入会	290名	
県外異動	(他県→愛知県)	4名
県外異動	(愛知県→他県)	8名
復会	1名	
休会	6名	
退会	4名	





## ◀ 求人情報 ▶

医療法人楠会 介護老人保健施設 **サン・くすのき**

- 所在地 〒462-0011 名古屋市北区五反田町111
- 電話番号 052-901-8210
- 募集人数 2名
- 希望条件 パート
- 担当者 早川・木村

社会福祉法人サンライフ 介護老人保健施設 **ジヨイフル名駅**

- 所在地 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-25-12
- 電話番号 052-533-9481
- 募集人数 1名
- 希望条件 常勤または非常勤 訪問リハビリ（要運転免許）  
介護老人保健施設 通所リハビリテーション
- 担当者 リハビリ部 末吉
- ホームページ <http://www.e-sunlife.or.jp>

**介護老人保健施設サザン東海**

- 所在地 愛知県東海市加木屋町西御嶽40番地の1
- 電話番号 0562-31-3310
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤
- 担当者 松葉朋広(連絡先:052-877-7788 介護老人保健施設みどり内)
- ホームページ <http://www.s-toukai.or.jp/>

**介護老人保健施設みどり**

- 所在地 愛知県名古屋市緑区横吹町1907-12
- 電話番号 052-877-7788
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤
- 担当者 松葉朋広(連絡先:052-877-7788 介護老人保健施設みどり内)
- ホームページ <http://www.kojima-kai.or.jp/>

◀ 求人情報 ▶

## 介護老人保健施設丸の内

- 所在地 愛知県名古屋市中区丸の内1-2-6
- 電話番号 052-222-3000
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤
- 担当者 松葉朋広(連絡先:052-877-7788 介護老人保健施設みどり内)
- ホームページ <http://www.kojima-kai.or.jp/>

## 株式会社 gene

- ① 訪問看護ステーション 仁 春日井
- ② 訪問看護ステーション 仁 岡崎
- ③ リハビリテーション デイサービス 仁 春日井
- ④ リハビリテーション デイサービス 仁 勝川

- 所在地 ①〒486-0851 愛知県春日井市篠木町五丁目24番1 伊藤信ビル1階  
②〒444-0806 愛知県岡崎市羽根町字鰻池227番地2 大平ビル2階  
③〒486-0851 愛知県春日井市篠木町五丁目19番2  
④〒486-0916 愛知県春日井市八光町二丁目18番2
- 電話番号 052-911-2800 (本社)
- 募集人数 若干名
- 希望条件 ①②正社員 ③④正社員・パート社員
- 担当者 安藤 有紀 本社・採用担当
- ホームページ <http://www.gene-llc.jp/>

## 中部メディカル 訪問看護ステーション

- 所在地 〒463-0048 名古屋市守山区小幡南3-17-31 B-3
- 電話番号 052-792-9802
- 募集人数 若干名
- 希望条件 常勤、非常勤問わず
- 担当者 熊澤
- ホームページ [chubu-med.com](http://chubu-med.com)

## 医療法人白楊会 虹ヶ丘介護老人保健施設

- 所在地 〒465-0086 名古屋市名東区代万町3-11-2
- 電話番号 052-300-3600
- 募集人数 1名
- 希望条件 常勤
- 担当者 事務部 犬飼直人
- ホームページ <http://www.hakuyoukai.or.jp/nijigaoka/>

## ◀ 求人情報 ▶

**医療法人マリオ・ネット 富田整形外科**

- 所在地 〒470-0124 日進市浅田町東田面94-3
- 電話番号 052-805-1101
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤希望であるが、非常勤でも可。  
(勤務条件については当院の規定による)  
急募。 通所リハビリテーション、運動器リハビリテーション併設。
- 担当者 事務長 富田
- ホームページ <http://www.on.rim.or.jp/~tomidaop/>

公益社団法人  
愛知県理学療法士会ニュース

No.183

平成 28 年 (2016) 11 月 1 日 発行

発行所 愛知県理学療法士会

発行者 鳥山喜之

編集者 後藤亮吉

事務局 〒461-0001  
名古屋市東区泉1-12-35 1091ビル9F  
TEL・FAX (052) 972-6295  
〔HP〕 <http://www.aichi-pt.jp>  
(携帯電話からも閲覧できます)  
e-mail:office@aichi-pt.jp

印刷 不二印刷工業株式会社